

掲載日 : 平成 22 年 12 月 10 日

掲載紙 : 日刊産業新聞

ソフトカバーグレーチング

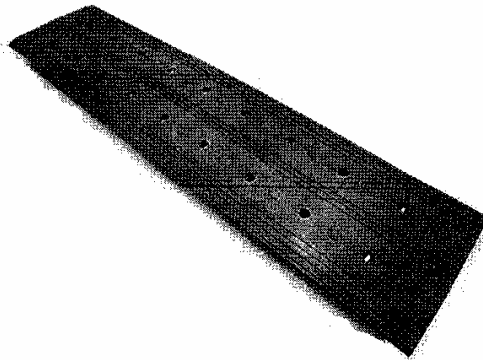
ダイクレが5種追加

1月販売 シリーズ年1万枚目標

【具】グレーチングのトップメーカー、ダイクレ(本社)広島県呉市、山本浩社長)は9日、鉄製骨材表面に合成ゴム(滑り止め加

工付き)を張り付けた排水溝用グレーチング「ソフトカバー」のラインアップに新たに5種を加え、来年1月から販売を開始すると発表しました。これによりソフトカバーは15タイプ

(車道用8種、歩道用7種)となり、来年は全体で年間1万枚の販売をめざす。ソフトカバーは公園、学校、競技場、ゴルフ場などの排水溝に使用される景観にマツ



ソフトカバーのT-14タイプ

チしたソフトタイプのグレーチング。最近、コンクリート蓋やアスファルト舗装に比べて快適性、安全性を重視する顧客ニーズが高まり、需要が増えている(前年同月比15%増)。とくに従来は歩道用中

心に使用されていたが、歩道用にも使われるケースが増えてきているという。こうしたニーズに対応するため今回、顧客の要望が多い車道用(荷重条件T-14)3種と歩道用2種の5種を、金型設備を増強することにより新規ラインアップに加え、販売することにした。

T-14タイプは溝幅150mm、180mm、360mm用の3種。歩道用はマス穴が40mm角と50mm角用の2種。色はグリーンとアンティークの2種類で、定価はT-14溝幅150mm用で1万3200円、歩道用マス穴50mm角で6万9600円。